

やまあい

発行元：東油木自治振興会文化部

ホーホー・ヒメボタル

6月は川辺を大きな光で飛ぶゲンジボタルが主役でしたが、7月になると山間を強い光で点滅して飛ぶヒメボタルへバトンタッチ。今年は短い梅雨で高気温の影響なのか、少し早い時期から飛び始めていましたが、地域内外の方々がヒメボタルを楽しむ恒例行事「ヒメボタルを観るタベ」（7月12日）はタイミングよく見頃のピーク日だったようで、チカチカと点滅して飛ぶ多くのホタルを楽しむことができました。「あっ今年ホタル見れなかった」とタイミングが合わなかった方は、水田近くでひっそりと飛ぶヘイケボタルはまだ観れると思います。ただし暗闇にはホタル以外に蛇やイノシシなどの野生動物もいますので気をつけて楽しんでください。



遭遇!!

早朝の涼しい時間に散歩をしていたら数匹のウリ坊が20メートル先を横断。子供だけで行動しているわけは無いと警戒して立ち止まると大きな親がヌーッと草むらから顔を出して子供を見守るように左右確認…。立ち止まっていたこちらに気づいたようで一瞬のお見合い。「やばい、早く道を渡ってくれ」とばかりに『パーン』と大声で叫ぶとイノシシ一家は慌てて横断しましたが、1匹のウリ坊だけが道を渡れず家族と反対方向へ…。しばらくすると逃げ足より早い速度で親イノシシがはぐれた子を探して再度道を横断。しかし、すれ違うように別の場所からはぐれたウリ坊はサササッと道を渡りました。微笑ましい家族ドラマのようなシーンでしたが、野生動物との遭遇は怖いのです。皆さんも気をつけてください。

セミの声少ない？

毎年、夏の暑さを感じるこの時期はセミの音がやまあいには響いている感じがしますが、今年は少し静かな気がします。人は少しずつ毎年の温度変化を感じていますが、アブラゼミなどは6年間も地中で生活しているので地上の暑さにびっくりしているのかもしれない。アブラゼミのジージーやヒグラシのカナカナ、ミンミンゼミのミーンミーンなどは夏を表現する音なので遠慮なくやまあいには響かせて欲しいですね（聞こえすぎるとうるさく感じますが・・・）



左 東芝8mmエディター
中 ミノリ編集機
右 ミネッタエディター

▼8mmビューフィルム編集機



No.141

くらかめ通信